

富山大学 医学部同窓会報

2024. 第33号



富山大学 医学部同窓会報

2024. 第33号



C O N T E N T S

4. 理事長挨拶 同窓会理事長 整形外科 教授 川口 善治(医学科 7回生)
 5. 理事挨拶 医学部同窓会誌に寄せて 富山県医師会長 村上 美也子(医学科 2回生)
 6. 医学部同窓会ホームページのリニューアルとSNSオープン 母性看護学 准教 二川 香里(看護学科 3回生)
 8. 2023年度 ちゃべカフェ in看護学科の活動報告 看護学科担当理事 山田 理絵・亀谷 茉里子
 10. 〈新任教授就任挨拶・教室案内〉
「人を対象とした研究倫理室」が発足しました 人を対象とした研究倫理室 室長 奥村 知之
 11. 新任教授挨拶 医学部 炎症性腸疾患内科 教授 渡辺 憲治
 12. 教授就任のご挨拶 学術研究部医学系 臨床分子病態検査学講座 仁井見 英樹
 13. 教授就任ご挨拶 医学部 麻酔科学講座 教授 高澤 知規
 14. 教授就任のご挨拶 耳鼻咽喉科頭頸部外科 教授 森田 由香
 15. 教授就任のご挨拶 小児科 教授 今井 千速
 16. 情動の神経基盤の解明を目指して システム情動科学講座 教授 西丸 広史
 17. 教授就任ご挨拶 理事長 院長 貝沼 茂三郎(医学科 12回生)
 18. 運と縁に恵まれた臨床生活を過ごして 島根大学医学部 循環器外科学 教授 山崎 和裕(医学科 12回生)
 20. 教授就任挨拶 東京慈恵会医科大学 呼吸器内科講座 教授 荒屋 潤(医学科 13回生)
 22. 「救命道」を突き進む！～救急医学講座 教授就任のご挨拶～ 医学部 救急医学講座 教授 土井 智章(医学科 19回生)
-

-
23. <退官寄稿>
定年退職にあたって 神経精神医学講座 教授 鈴木 道雄
24. 退任にあたって 第一内科 戸邊 一之
26. 思い出、退任の挨拶にかえて 歯科口腔外科学講座 教授 野口 誠
27. いまも夢を追っています 総合診療科 教授 山城 清二
38. 看護学教育に期待すること 八塚 美樹
29. 第16回富山大学ホームカミングデー・プログラム
30. <卒業生からのメッセージ>
谷野呉山病院 理事長・院長 谷野 亮一郎(医学科 9回生)
富山大学総合医薬学研究科 修士課程 高橋 愛理(旧姓 小池)(看護学科 20回生)
堺市役所健康福祉局健康部 健康推進課 青山 裕紀(医学科 25回生)
32. <訃報>
遠藤栄一先生を偲んで 八戸市立市民病院 呼吸器科 熊谷 美香(医学科 16回生)
33. 訃報一覧 田淵 英一 先生
木田 和典 先生
原田 雷太郎 先生
斉藤 弘樹 先生
遠藤 栄一 先生
34. 令和5年度第42回富山大学医学部同窓会総会 議事録
38. 令和5年度富山大学附属病院関連病院長懇談会総会議事要旨
40. 令和5年度富山大学附属病院関連病院長懇談会理事会議事要旨
42. 令和4年度会計報告
44. 職掌分担・評議員一覧
46. 医学部人事消息
48. 令和4年行事報告・令和5年行事・令和6年行事予定
49. 編集後記
50. 会計からのお知らせ
-



理事長挨拶

同窓会理事長 整形外科 教授 川口 善治(医学科 7回生)

2023年4月より富山大学医学部同窓会理事長を仰せつかりました川口善治です。私は1988年(昭和63年)に富山医科薬科大学医学部を卒業しました。大学医学部の卒業生としては第7回生となります。

我々の先輩で、第1回生であり理事長職を長くお勤めになられた足立小児科前教授の後を受けて、この度大役を担うこととなりました。私は、これまで同窓会の活動には理事として会議や入学式、卒業式などの式典に参加させていただいておりました。また現在は富山大学医学部整形外科教授として診療、研究、教育に携わらせていただいております。同窓会員の皆様におかれましては、この場を借りてご挨拶をさせていただきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

1975年に開学した富山医科薬科大学は、途中富山大学に名称を変更いたしました。医学部としては2025年に50周年を迎えます。建学の理念は「里仁為美」(論語)(仁におるをよしとなす)であり、これは仁の精神(思いやりの心)で何事にも取り組むべきということを意味します。杉谷キャンパスの入り口には当時の文部大臣 永井道雄氏による揮毫の碑が建てられており、ご存じの方も多々と思っております。設立当初の医学部は医学科のみでありましたが、1993年より看護学科が併設され2005年再編・統合により富山大学医学部となりました。現在までに医師3958名、看護師1707名、保健師1859名、助産師128名を輩出し、これらの卒業生が保健、医療、教育、研究、行政の各領域で活躍しています。アカデミアにおいても卒業生が教育職を務める教室が増えてきています。また富山県医師会会長である村上美也子先生や富山県議会議員の種部恭子先生も富山医科薬科大学の卒業生です。

50年といいますと思い出されるのは、論語の「五十知名」、すなわち「五十にして天命を知る」、という言葉です。我々の富山大学医学部の天命は何でしょうか？私は、第一に地域医療への貢献を上げたいと思っております。富山の医療は我々富山大学医学部の卒業生が責任を持って担う、そのような心掛けで富山大学附属病院を中心とした関連病院では患者さんに信頼される医療を行う必要があると思っております。また第二に大学の医学部では、最先端の研究を展開しこれを世界に発信することも当然求められております。オリジナリティーのある発想からその成果を世の中に問うという姿勢が必要であり、アカデミアとしても内外から期待されるべきところでありましょう。さらに第三にこれらを担う有意な若い医療人、研究者を継続的に育てるという教育も重要であると考えています。富山大学医学部の発展は卒業生の貢献なくしてはありえません。志を同じくする仲間を増やすために今後の学部および卒業後教育に大いに期待したいと思っております。

同窓会という組織は、もちろん同窓生間の親睦・懇親、母校・後輩への後援などを目的としております。中でも私は、富山大学医学部同窓会は、富山で医学を学びたいと思った同志が集い、富山大学で学んだことを誇りに思って、同窓会員が人と人との繋がりを大切にする組織でありたいと思っております。2025年には開学50周年を記念し、記念事業として教育センターの設立や種々の講演会などのイベントを計画しています。同窓会員の方々には、物心両面にわたってご協力を仰ぐことになろうかと思っております。何卒ご理解、ご協力のほど心よりお願い申し上げます。



医学部同窓会誌に寄せて

富山県医師会長 村上 美也子(医学科 2回生)

新たに同窓会理事を拝命しました村上美也子です。富山に生まれ育ち、地元の富山医科薬科大学の2期生として学びました。最近県内ではクマが出没していますが、入学した頃のキャンパスには「マムシに注意」と書かれた看板がいくつも立っていました。講義棟と食堂だけのキャンパスでしたが、少人数でとても楽しかった記憶しかありません。小児科学教室に入局した後も、派遣先の糸魚川と神岡に出向した以外は富山で過ごしました。

小児科医になって40年が経ちました。開業したばかりの頃に診ていた子どもたちはもう成人になり、自分の子どもたちを連れてクリニックを訪れてくれます。小さな頃のイメージとはかけ離れており、すぐに本人とは気付くことはできませんが、一緒に来られたおばあちゃんを見て、一気に心は昔にワープします。最近の記憶はとても曖昧なのに昔の記憶は鮮明で、名前もわかるし、住所はあのあたり、兄弟のことも覚えていて、おばあちゃんにも驚かれ、つつい長話になってしまいます。つくづく小児科医って幸せでいい仕事だと感じます。

5期10年の長い間県医師会長を務められた前会長からバトンを受け、2023年6月より新たに富山県医師会長に就任いたしました。日本は厳しい経済状況と物価高が続き、さらには高齢化も進み、そのことが医療を取り巻く環境を一層厳しくしております。医療の高度化も踏まえて、人々の健康でありたいとの願いはますます強いものとなってきました。県民の視点に立った医療を追求するとともに医療が理想とする制度や政策等の実現のためには、医師会が医療に携わるすべての方々に信頼されることが大切と考えております。

母校である富山大学医学部は開学からまもなく半世紀を迎えようとしており、多くの卒業生を送り出し、医師や看護師、薬剤師は地域医療の重要な役割を担っております。県民にとって安全で安心でき、水準の高い医療を提供できるよう、卒業生の皆様方が健康でご活躍いただくことを祈念しております。また、富山県医師会も皆様方と連携し、しっかりコミュニケーションをとり、共通のビジョンを持ち、地域医療を支えていきたいと思っております。

これからも私たちの活動にご理解いただくとともに、ぜひご参加、ご支援いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。



医学部同窓会ホームページのリニューアルとSNSオープン

母性看護学 准教授 二川 香里(看護学科 3年生)

同窓会員の皆様、日頃より本同窓会ホームページをご利用いただき誠にありがとうございます。理事である林龍二教授(富山大学附属病院臨床腫瘍部)、三原弘准教授(札幌医科大学総合診療医学講座)とともに医学部同窓会ホームページの管理運営に関わらせて頂いている二川です。よろしくお願ひ致します。

現行の医学部同窓会ホームページは、およそ10年前に開設されました。ホームページでは、随時、医学部同窓会総会や大学ホームカミングデーなどの同窓会に関わるイベントのお知らせ、同窓会報の一部、役員挨拶等を掲載してまいりました。また、会員の皆様からの会員情報変更を受け付ける窓口としても利用されておりました。この10年の間で、皆様にも馴染みのあるサイトになっていたのではないかと思います。

昨今の様々な場面で加速するIT化・DX化を受けて、2024年4月に同窓会ホームページを全面的にリニューアルするとともにInstagram、X(旧Twitter)など双方向性のSNSをオープンすることとなりました。

まずは、以下にリニューアルのポイントをご説明いたします。

◆TOPページの変更

杉谷キャンパス全景の写真を用いた新デザインとし、訪問者がより適切な内容を閲覧できるようにコンテンツを整理して表示いたします。

◆同窓会員限定ページの作成

会員個々のログインIDおよびパスワードを設定し、会員のみに向けた情報発信が可能となります。会員限定ページでは、同窓会報の全ページをデジタルファイルで公開します。また、会費クレジット決済機能も導入予定です。

◆コンテンツの拡充

会員限定ページでは、同窓会活動や医学部に関するイベントの動画配信も予定しています。動画撮影や投稿もご協力をお願いいたします。

◆SNSの埋め込み

同窓会公式Instagram、X(旧Twitter)、Facebookをホームページから閲覧できるようにいたします。同窓会からのお知らせや、在学生にも協力頂いて医学部の近況をよりスピーディーに発信いたします。

以上のリニューアルにより、医学部同窓会事務作業のIT化が同時に進み、アナログ作業(ハガキでの会員情報変更、同窓会報の郵便発送など)が減ることも期待されます。

【リニューアルにあたってのお願い】

会員限定ページを利用できるのは、同窓会費納入済みの方のみとなる見込みです。未納の方は、ぜひこの機会に納付をお願いいたします。登録方法はホームページ、SNS等を参照ください。

ホームページリニューアルに伴い、URLも変更となります。旧ホームページからリンクしますので、大変お手数ですが、「お気に入り登録」を新ホームページに変更ください。

旧ホームページ URL:<https://alum.med.u-toyama.ac.jp/>

次に、医学部同窓会SNSオープンについて説明いたします。2023年11月中旬に、同窓会室にて医学科・看護学科在学中の同窓会委員数名と広報担当教員でミーティングを開催し、InstagramとXを開設いたしました。ミーティングでは和やかな雰囲気の中で、学生目線の意見を多数集めることができましたので、今後の運営に活かしていきます。SNSでは同窓会のお知らせだけでなく、学生委員からも協力を得て投稿用の写真や動画を集めて医学部の近況を発信し、会員の皆様と同窓会のつながりをより強いものにしたいと思っております。ぜひフォローをお願いいたします！



今後も同窓会ホームページおよびSNSを充実させるために、皆様からご要望やご意見等がございましたら同窓会事務局までお知らせください。どうぞよろしく願いいたします。